

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

支える人を
支える

災害ボランティア・NPO活動 サポート募金(災害ボラサポ) 2019年度助成事業報告



ごあいさつ

2019年度に各地で相次いで発生した災害において、お亡くなりになられました方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

中央共同募金会では、2011年4月、東日本大震災に際して「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（以下ボラサポ）を創設し、2016年4月に発生した熊本地震に際しましても「ボラサポ・九州」を実施してきました。

2018年より、全国各地で規模に関わらず自然災害が頻発したことから、被災者支援を行うボランティア・NPO団体の支援ニーズの高まりをうけて、被災直後の緊急・復旧支援活動に加え、復興支援活動まで、息の

長い支援活動を支えることを目的として常設化し、災害発生時における支援活動の状況に応じた助成事業をスタートいたしました。

この災害ボラサポは、そうした被災者を支援するボランティアグループ・NPO団体の活動に対して助成を通じて支えるために、企業・団体・個人の方から寄せられたご寄付を財源として実施しております。

つきましては、本助成を受けて展開された、被災地の緊急復旧・復興支援活動や被災された方々の支えとなる活動について、ご報告させていただきます。

ご支援をいただいた多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

社会福祉法人 中央共同募金会

これまでの災害ボラサポによる助成状況

助成総計 14,970件 5,646,298,873円

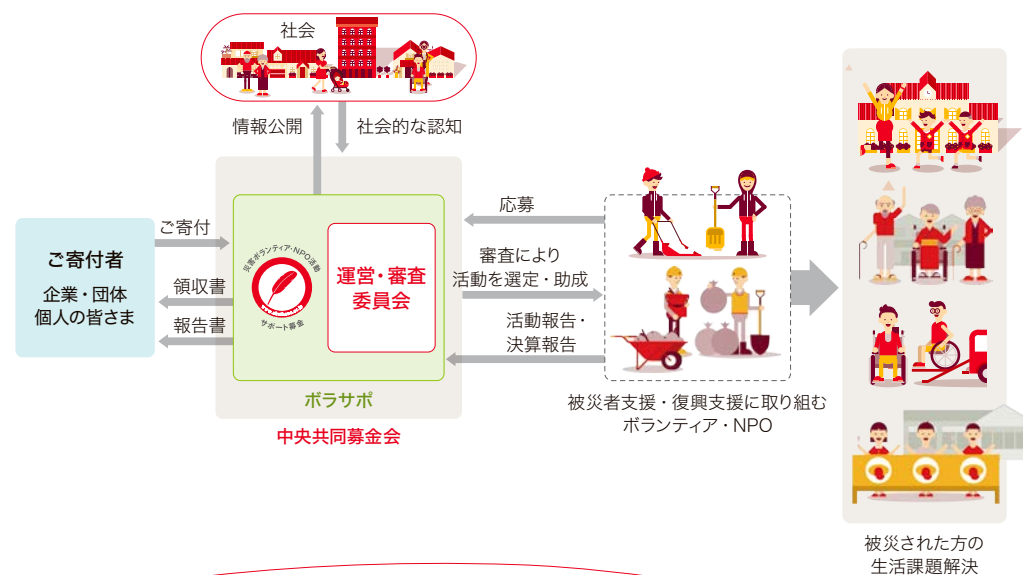
2020年3月31日現在

災害名	募金名（略称）	助成件数	助成決定額（円）
東日本大震災（平成23年）	ボラサポ	9,876	4,179,310,000
	ボラサポ2・住民支え合い活動助成	3,960	353,322,000
平成28年熊本地震	ボラサポ・九州	266	503,490,000
	ボラサポ・九州 住民支え合い活動助成	295	13,503,000
平成30年大阪府北部地震	大阪府北部地震ボランティア・NPO活動支援金	12	13,571,873
平成30年7月豪雨	ボラサポ・豪雨災害	225	223,560,000
平成30年台風21号	ボラサポ・台風21号災害	48	44,876,000
平成30年北海道胆振東部地震	ボラサポ・北海道	29	49,946,000
令和元年山形沖地震	（募金募集は行わず）	6	1,110,000
令和元年8月大雨災害	災害ボラサポ・8月九州豪雨	38	14,810,000
令和元年台風15号	災害ボラサポ・台風15号	30	12,960,000
令和元年台風19号	災害ボラサポ・台風19号	185	235,840,000

※東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨災害、台風21号、北海道胆振東部地震については、現在も、被災道府県の共同募金会を通じて、被災地のコミュニティを再構築する住民同士の支え合い活動等に対して助成を続けています。

災害ボラサポのしくみ

- 災害ボラサポは、企業・団体・個人の寄付者の皆さまからいただきましたご寄付により、被災地で活動するボランティアグループ・NPO団体に助成するしくみです。常時寄付金を受け付けていますが、災害発生時には、当該災害を特定した募金活動を実施しています。
- 災害ボラサポの助成にあたっては、外部識者による運営・審査委員会を設け、運営要綱と助成方針に基づき公正で適切な助成を行っています。
- 適切な助成を行うために、赤い羽根の持つ全都道府県、市区町村のネットワークを活用して、発災当初から情報収集しつつ、被災地に本当に必要とされている活動を支援しています。



災害ボラサポはSDGs推進に寄与します

SDGsは2015年9月の国連サミットにおいて、すべての人のための目標の達成をめざし、官民による多様な関係者パートナーシップにより持続可能な社会の実現をめざすために定められたものです。災害ボラサポは、災害時の被災者支援活動や平常時の防災・減災に対する活動への支援を通じて、「誰一人取り残さない」持続可能な社会づくりの実現することを目指し、災害時の課題解決に向けて取り組んでいます。



目次 CONTENTS

- 2 ごあいさつ
災害ボラサポのしくみ
- 4 2018年度に発生した災害への助成
- 6 2019年度に発生した災害への助成①
（山形沖地震、8月大雨災害）
- 8 2019年度に発生した災害への助成②
（台風15号災害）
- 10 2019年度に発生した災害への助成③
（台風19号災害）
- 14 収支報告、ご寄付をいただいた
企業・団体の皆さま

2018年度に発生した災害への助成

2018年度は、6月に西日本を中心として広い地域が集
中豪雨に襲われ、河川の氾濫や洪水、土砂災害など、人
的被害を伴う甚大な被害が発生した「平成30年7月豪雨
災害」、9月には猛烈な勢力を保ち上陸し、近畿地方を中
心に家屋への大きな被害が発生した「台風21号災害」、同
台風通過直後に北海道胆振地方において大規模な地震が
起こり、土砂崩れによる多くの住宅の倒壊、液状化により
道路などの陥没が相次ぎ、道内で大規模な停電が発生し
た「北海道胆振東部地震」など多くの被害をもたらす災害
が発生しました。

各災害が発生した被災地では、発災直後より被災者を

支援するための「災害ボランティアセンター」が開設され、
多くのボランティアグループやNPO等による暮らしの再
建に向けた復旧や復興のための支援活動が行われました。
現在でも、被害の大きかった被災地を中心に支援活動が
継続されており、ボランティアやNPOによる被災者支援
活動が続いています。

災害ボラサポでは、そうした活動を継続して支えるため
に、平成30年7月豪雨災害、台風21号災害、北海道胆振
東部地震の各被災地と被災者を支える活動を行うボラン
ティアグループやNPOに対する助成を継続して実施いた
しました。

平成30年7月豪雨災害

平成30年7月豪雨災害の被災地では、今
なお、被害の大きかった被災地を中心に地
元住民による助け合いやコミュニティづくり
等の活動が行われています。そうした状況
から、愛媛県、広島県、岡山県の各県共同
募金会を通じて、地元団体による支援活動
に対する助成を継続して行いました。

○寄付と助成状況

災害名	平成30年7月豪雨
助成事業名	ボラサポ・豪雨災害
2019年度寄付額／累計寄付額	10,500,279円／322,201,553円
2019年度助成件数／累計助成件数	35件／225件
2019年度助成決定額／累計助成決定額	33,100,000円／223,560,000円

※愛媛県、広島県、岡山県共同募金会を通じた助成
※2020年度も助成継続中

平成30年台風21号

平成30年台風21号災害により被災した
方々への助け合い活動に対する支援や今後
起こり得る災害への防災・減災活動を継続
的に支援するために、大阪府共同募金会を
通じて、地元団体による支援活動や、次の
災害に備えるための活動に対する助成を継
続して行いました。

災害名	台風21号（平成30年）
助成事業名	ボラサポ・台風21号災害
2019年度寄付額／累計寄付額	—／82,745,485円
2019年度助成件数／累計助成件数	34件／48件
2019年度助成決定額／累計助成決定額	29,566,000円／44,876,000円

※中央共同募金会および大阪府共同募金会を通じた助成
※2020年度も助成継続中

平成30年北海道胆振東部地震

平成30年北海道胆振東部地震により被
災した地域で支援活動を行うボランティア・
NPO団体の継続した活動を支援するため
に、北海道共同募金会を通じて、被災地域
である安平、むかわ、厚真の3町の地元団
体による助け合いや復興のまちづくりを中
心とした活動への助成を継続して行いました。

災害名	北海道胆振東部地震（平成30年）
助成事業名	ボラサポ・北海道胆振東部地震
2019年度寄付額／累計寄付額	1,285,408円／50,465,054円
2019年度助成件数／累計助成件数	2件／29件
2019年度助成決定額／累計助成決定額	1,646,000円／49,946,000円

※北海道共同募金会を通じた助成
※2020年度も助成継続中

活動事例

●団体名 BIG UP大阪

●活動名 H.30台風21号の被害対応を目的にした 災害復興支援活動

●助成決定額	3,000,000円
●活動場所・拠点	大阪府堺市・高石市・大阪狭山市・岸和田市・ 泉佐野市・泉南市・茨木市・高槻市・箕面市・ 枚方市・大阪市
●活動期間	2019年7月1日～2020年3月31日
●URL/SNS	https://www.facebook.com/biguposka/

●活動内容

2018年の台風21号災害により、大阪府
内では約40,000世帯が被害をうけ、今な
お、約10,000世帯近くが補修を待ちなが



ら生活されており、そうした方々に対して、
台風の影響によって破損した屋根瓦へのブル
ーシート張りや破損した瓦の落下による
2次被害を防止するための活動を行いました。
また、専門的技術を要す
るボランティアが少ないこと
から、住民の方々へのブルー
シート張りにおける講習を開
催し、被災者に安全対策や技
術を習得していただくことで、
地元ボランティアの育成につ
なげる支援を行いました。

●活動の成果

台風により破損した屋根の修
繕が進まないことが長期化の

原因になっている事もあり、行政や社会福
祉協議会、NPOと今まで以上に連携するこ
とで、住民ボランティアやコミュニティ単
位での活動の担い手を増やし、今後の災害
にも対応できる体制づくりをつくることが
できました。

●寄付者へのメッセージ

ご寄付によりご支援いただいたことで、危
険な高所での支援活動において安全確保に
つながり、被災地の復旧、復興が着実に進
んでいることに御礼いたします。皆様のご
支援をもとに、引き続き活動を継続してい
きたいと思います。このたびのご支援に感
謝いたします。

●団体名 岸和田市社会福祉協議会

●活動名 台風21号災害復興支援のための ボランティア活動支援事業

●助成決定額	1,410,000円
●活動場所・拠点	大阪府岸和田市
●活動期間	2019年10月1日～2020年3月31日
●URL/SNS	http://www.syakyo.or.jp

●活動内容

災害が発生して1年以上経過し一定のニー
ズが落ち着いてきたが、まだまだブルーシ
ートの張り替え等住民の方々から困りごと



相談もあり、地元のボランティアを中心と
したニーズに対応する活動を継続して行っ
ています。また、継続した活動を行うため
に、町会自治会等が主催する防災訓練、各
種イベントに参加し、ブルー
シート張りの講習会やドロー
ン講習を実施し、地域住民の
方々がスムーズでかつ安全に
活動を行うことができるよう
に、技術系ボランティアの育
成を行いました。

●活動の成果

技術系NPO団体との連携を図
り、徐々に活動に必要な資器
材を揃えることで、活動がス

ムーズでかつ安全に行うことができよう
になりました。市内各地に出向いて災害ボ
ランティア活動の啓発と技術系ボランティ
アの育成を行うことができました。

●寄付者へのメッセージ

延べ1000人を超えるボランティアの方々
に支援をいただくことができ、被災地協と
してさまざまな経験を行うことでノウハウ
も身に付いたと実感しております。今後は
この経験を活かし、市民とともに継続した
支援活動ができればと思っております。ご
支援ありがとうございました。

山形沖地震

発災日／6月18日

6月に山形県沖にて地震が発生し、山形・新潟の両県において物的な被害が発生しました。広範囲による被害はなく、震源に近い地域での被害で局所的だったこともあり、自治会や民生委員、ボランティアなどにより、丁寧な安否確認が行われ、地元を中心としたボランティアによる支援活動が展開されました。

こうした状況を受けて、災害を特定せずに、災害発生時に迅速に支援するための「ボラサポ全般」に対するご寄付を活用して、地元で活動するボランティアグループ・

NPOによる支援活動を支えるため、「山形県沖地震 ボランティア・NPO活動サポート募金」を実施し、6件、111万円の助成を実施いたしました。

災害名	令和元年山形沖地震
助成事業名	山形県沖地震 ボランティア・NPO活動サポート募金
寄付額	—
助成件数	6件
助成決定額	1,110,000円

活動事例

- 団体名 **ウェザーハート災害福祉事務所**
- 活動名 **被災者支援活動を円滑に行うためのコーディネート活動**

●助成決定額	210,000円
●活動場所・拠点	山形県鶴岡市
●活動期間	2019年6月18日～2019年6月29日
●URL/SNS	https://www.weatherheart.net/

●活動内容

発災後に避難所等への訪問を行い、被害状況および住民の生活状況を確認し、行政や社会福祉協議会、NPO等の支援にかかわる団体と情報共有や支援に関する協議の場



を設け、被災地社会福祉協議会への災害ボランティアによる活動のサポートを行いました。そのなかで、多様な関係機関や団体との連携をコーディネートし、県内外からの資源を活用した被災者支援活動を行いました。

●活動の成果

今回の活動の中で、「災害ボランティア」の認識を高め、住民にとってメリットがあることを関係者間に知ってもらうことで、災害ボランティアの必要性や活動、外部から

の支援が有効であることを認識していただくことができました。

●寄付者へのメッセージ

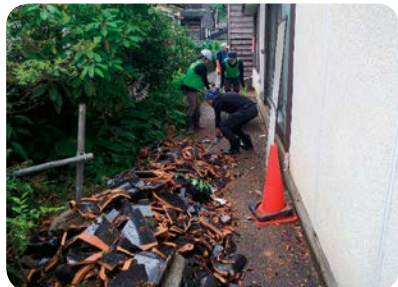
災害支援活動は突発的に始まり、場合によっては予定していた業務・事業を中断したり、収入源となる仕事をキャンセルするなどして、災害対応にあたります。手弁当で活動を行うケースも少なくありません。助成を頂けるという事は、長期かつ安定した被災者支援活動を行えるということにつながりますので、とても有り難いです。

- 団体名 **山形県社会福祉協議会**
- 活動名 **山形県沖地震の被災地社協での災害ボランティアの支援活動**

●助成決定額	130,000円
●活動場所・拠点	山形県鶴岡市
●活動期間	2019年6月19日～2019年6月25日
●URL/SNS	http://www.facebook.com/yamagata.shakyo/

●活動内容

発災直後から、被災地域での建物や住民の被害状況の確認や避難所を訪問しボランティアによる運営の必要有無の確認を行い、災害ボランティアセンターの設置に向けて



社協、行政、NPO等により検討を行いました。被害の大きかった鶴岡市ボランティアセンターへの支援を行い、被災ニーズに対する支援調整やホームページ作成などの情報発信業務をサポートし、被災地と県などの行政機関や関係団体との連絡調整を図り、被災地の支援活動に対する業務支援を行いました。

●活動の成果

地域を訪問し住民に災害ボランティアによる支援活動があることを知っていただき、屋根から落ちた瓦の撤去や家屋の片付けを手伝ってもらうボランティアを知ってもら

うことができました。さらに、地域の学生などもボランティア活動に参加していただくことにつながりました。

●寄付者へのメッセージ

赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金のおかげで県内外からのボランティアの方々がボランティアできる環境を、住民の方がボランティアを受け入れる体制をサポートでき感謝申し上げます。これもひとえに共同募金に御協力いただいた皆様のおかげです。温かい御支援に深く御礼申し上げます。

8月大雨災害

発災日／8月27日

8月に九州北部地方を中心とした前線に伴う大雨によって、河川の氾濫や洪水等の被害が発生しました。特に被害の大きかった佐賀県5市町や福岡県内では、家屋の浸水による家財道具の搬出や家屋内外の清掃等の支援活動が行われるとともに、佐賀県の大町町では、鉄工所から大量の油が流出し、その油の除去作業等の活動も専門的な技術を持つNPOによって展開されました。

こうした状況を受けて、「8月九州豪雨に伴う 災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(災害ボラサポ・8月九州豪雨)を実施し、発災直後からボランティアグループ・NPOによる緊急的な生活復旧にかかる被災者支援活動を支える

ため、第1回助成として31件1,299万円の助成を行いました。しかし、被災地ではフェーズの変化により被災者の暮らしの再建、復興に向けて、息の長い継続した支援を必要とされていたことから、第1回助成の決定した団体に対して、引き続き支援ニーズを確認したうえで、第2回の追加助成を行い、7件、182万円の助成を実施いたしました。

災害名	令和元年8月大雨災害
助成事業名	災害ボラサポ・8月九州豪雨
寄付額	12,838,523円
助成件数	38件
助成決定額	14,810,000円

※助成件数、助成決定額は、第1回助成および第2回助成を含む

活動事例

- 団体名 **杷木復興支援ベース**
- 活動名 **災害ボランティアセンター運営サポート及び危険を伴うテクニカル作業活動**

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	佐賀県武雄市、大町町、小城市
●活動期間	2019年9月1日～2019年10月31日
●URL/SNS	https://www.facebook.com/hakibase/

●活動内容

発災直後からニーズを確認するために戸別訪問を行いながら、今後どのような支援が必要かなどの可能な限りの情報をまとめ、現地情報共有会議の中で出てきた問題に応



じて、災害ボランティアセンターと連携し、浸水した家屋の家財搬出や床下の清掃等の活動を行いました。また、工場の油の流出が問題になった大町町では、油の除去に必要な資機材を準備し、家屋内外に付着した油を高圧スチーマーで除去し清掃する活動にも取り組み、被災された住民の方々に安心してもらえる支援を行いました。

●活動で得られた成果

佐賀県内、また県外との支援団体・支援者との繋がりができ、今後の協力体制の強化につながるきっかけができた。地元の消防職員ボランティアに、朝倉で培ったブルー

シート張りの技術や、被災地の経験として落とし込むことができました。

●寄付者へのメッセージ

皆様からの温かいお気持ちがあり、この活動が出来たことに感謝しています。災害が多発するなか、助け合いや支え合いがあることでどれだけの助けになるかは計り知れません。助成は災害時において一番の活動財源であり、ただ想いがあるだけでは活動を行うことはできませんでした。今回の活動を通して学んだことを今後にもつなげ、活かせるよう努めてきたいと思います。本当にありがとうございました。

- 団体名 **被災地NGO協働センター**
- 活動名 **武雄市の生活再建のためのおもやりボラセン運営支援および個別的支援の活動**

●助成決定額	440,000円
●活動場所・拠点	佐賀県武雄市
●活動期間	2019年9月1日～2019年12月23日
●URL/SNS	http://ngo-kyodo.org/

●活動内容

武雄市に開設された「おもやりボランティアセンター」において、ニーズ調査やマッチング、コーディネート、資機材の調達等の運営サポートを行いました。併せて、在



宅避難者への戸別訪問を行い、地元ライオンズクラブが行う炊き出しを配食し、訪問時に健康状況や困りごとの把握の聞き取りを通じて見守り活動につなげました。また、他団体の力も借りながら、おもフェスという炊き出しイベントを実施し、子どもの遊び場・物資の配布・個別相談ブース等を設け、多くの地域の方に集まっていただき交流する機会を設けました。

●活動の成果

戸別訪問をすることによって、直接的に食事をお渡しするというだけでなく、例えば住宅の再建方法についての相談などに

もつながったケースも多くあり、在宅避難者のニーズを拾えたことで社会福祉協議会や保健師さんへと支援をつなぐことができました。

●寄付者へのメッセージ

今回、助成をいただいたことで被災者の方に直接お会いして支援を行うことができました。フェーズが移り変わっていく中で、ボランティアの取り組みの重要性を再確認でき、参加者からは、力仕事だけだと思って遠慮していたけど、私でもできることがあった、という声もいただきました。ありがとうございました！

台風15号災害 発災日／9月9日

9月に台風15号が関東地方に上陸し、千葉県を中心に関東近郊において、猛烈な暴風によって広範囲に渡り停電が起り暮らしへの甚大な影響や、多くの住家の建屋が損傷するなどの被害が発生しました。

こうした状況をうけて、家屋被害に対する技術を伴う活動や暮らしの復旧活動を行うボランティアグループ・NPOによる支援活動を支えるため、「令和元年台風15号に伴う災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（災害ボラサポ・台風15号）を実施し、30件、総額1,296万円の助成

を実施いたしました。

今なおも、被害の大きかった千葉県を中心に、家屋に対するブルーシート張りの支援が必要とされており、ボランティアやNPOによる支援活動が続いています。

災害名	令和元年台風15号
助成事業名	災害ボラサポ・台風15号
寄付額	35,859,838円
助成件数	30件
助成決定額	12,960,000円

※残金は災害ボラサポ・台風19号へ繰入

活動事例

- 団体名 ゆかいな仲間たち
- 活動名 令和元年9月の台風15号による被災者のための支援活動

●助成決定額	490,000円
●活動場所・拠点	千葉県市原市、長南町、君津市
●活動期間	2019年9月9日～2019年11月30日
●URL/SNS	https://blog.canpan.info/npo-yukanaka/index-2.html

●活動内容

台風15号上陸直後に、被害状況や近隣世帯の安否確認を行い、長引く停電に伴って、町会から独居高齢者宅で熱中症対策として扇風機を動かす動力が必要とのニーズが



多数寄せられ、発電機の貸出と設置を行いました。また、市原市や長南町、君津市の災害ボランティアセンターと連携し、高所での作業が必要となるニーズに対応し、梨畑の飛散したネット回収や家屋へのブルーシート張り、倒木撤去を行い、軽トラックによる家財道具を集積所への搬出や被災世帯への飲料水や食料品の配布などの支援を行いました。

●活動の成果

当初は、被災された方々がボランティアに対して遠慮がちであったが、支援機関との連携を通じて、地域との顔の見える関係

が築け、被災者からの多様な支援ニーズに対応することができました。

●寄付者へのメッセージ

財政基盤がぜい弱に必要な時にタイムリーな行動に出る事ができず困っていたときに、ご支援を頂けたことで、行動の推進力となり大変助かりました。今回は、当団体も被災し本当に被災者の痛みを感じましたので、一人でも多くの方への支援につなげることが寄付者への恩返しとなると感じた次第です。心より感謝しております。

- 団体名 災害救援 レスキューアシスト
- 活動名 台風15号で被災した方々のための屋根のブルーシート張り活動

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	千葉県鴨川市、鋸南町、君津市、木更津市
●活動期間	2019年9月12日～2019年10月10日
●URL/SNS	http://rescue-assist.net/

●活動内容

被災直後に現地調査を行い、各市町の社協や行政への聞き取り調査から鴨川市を拠点に、高齢者施設への物資支援やブルーシートによる屋根の応急処置を中心とした活動を行いました。また、ニーズ調査を通じて高齢者や障がい者を抱える家庭のサポートをする一方で、高所での応急処置については資材が不足するなか、これまでの支援経験のなかで得た技術を活かし、新たな技法を開発し、家屋への応急対応に取り組みました。また、自衛隊や他団体と連携し、一件でも多くの屋根の応急処置が安全に行えるようにブルーシート張り講習会を各地で開催を行いました。

●活動の成果

ブルーシートは劣化するため何度も張り替える必要があり、そうした技術を伝承すべく講習会を各地で実施したことにより、地元の方々とブルーシート張り活動を継続的に行うボランティアの育成につなげることができました。

●寄付者へのメッセージ

皆様のご支援に背中を押していただき、千葉県内での被災地支援活動をスタートさせることができました。今までの経験を活かし、被災された方々のご心配を取り除けるように今後も活動を続けていきたいと思っ

ています。被災地に心を寄せていただき、活動を見守っていただければ嬉しいです。ご支援ありがとうございました。



活動事例

- 団体名 bousaring
- 活動名 台風15号による富津市災害ボランティアセンターの為の支援活動

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	千葉県富津市
●活動期間	2019年9月12日～2019年11月30日
●URL/SNS	https://ameblo.jp/bousaring/

●活動内容

発災した翌日から、富津市災害ボランティアセンターの立ち上げ支援を行い、地元社協の方々に様々な支援団体をお繋ぎしなが



ら、災害ボランティア活動のコーディネーターや資機材の調整、関係機関との折衝などを行いました。特に、支援活動が長期にわたることが想定され、被害状況から高所での作業など専門的な技術を要する活動ニーズが多く寄せられたため、各専門分野の方々とタスクチームを作り、そうしたニーズに対応できる体制づくりを構築するための支援を行いました。

●活動の成果

様々なNPO団体を富津市災害ボランティアセンターにつないだことにより、災害ボラン

ティア活動の幅を広げることにつながりました。自宅の再建に関する相談について、つながりのある弁護士を紹介したことによりリーガル問題の解決することができました。

●寄付者へのメッセージ

支援活動はバトンリレーが重要だと考えます。その時々に応じて、その時に最適な人にバトンを渡していき、誰かが居なくなっても活動が継続するように、チームとして機能していく事が大切です。今回の助成金のおかげで十分に支援することができ、次に繋げる事ができました。ご支援いただいた皆様に、心から感謝いたします。

- 団体名 DEF～災害エキスパートファーム
- 活動名 災害ボランティアの技術向上及び技術の伝道のための活動

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	千葉県鋸南町、鴨川市
●活動期間	2019年9月14日～2019年10月15日
●URL/SNS	http://www.facebook.com/DEF.TOKYO/

●活動内容

発災直後から被災地域に入り、混乱状況のなか災害ボランティアセンターや他の支援団体と連携して、強風で屋根の瓦が飛んでしまった家屋へのブルーシート張りや生活



に影響する支障木をチェーンソーや重機等を使用して伐採、撤去など一般ボランティアでは対応が困難なニーズに対応しました。また、行政からの依頼により自衛隊員へのブルーシート張り技術講習会を実施し隊員へのレクチャーを行うとともに、被災世帯が多いこともふまえて技術系プロボノ団体の支援活動拠点を設けた支援を行いました。

●活動の成果

技術を伴う困難なニーズに対応したこと、被災者等が屋根に上がり作業を行うという危険を回避することにつながりました。特に、技術系ボラ

ンティア育成のための講習会を開催し、多くの方々が高所での作業が可能となったことで、各地域でニーズに対応できました。

●寄付者へのメッセージ

貴重な募金を私たちの活動に助成いただき、深く感謝しております。被災地域において技術を要するニーズへの対応し、より安全に活動を行う事が出来ました。被災地との繋がりを大切に今後も支援に携わってまいります。このたびはありがとうございました。

台風19号災害 発災日／10月12日

10月に上陸した台風19号は、関東甲信越および東北地方の70を超える河川で堤防の決壊や越水による洪水により、多くの人的被害や家屋への浸水等の被害が発生しました。被害が広範囲にわたっていることから、1都13県で100ヵ所以上の災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアによる支援活動が行われました。

こうした状況を受けて、ボランティアセンターの運営支援や被災家屋等の片づけ、被災者のための物資提供、コミュニティ再建に向けたサロン活動等を行うボランティアグループ、NPO等を支援するため、「災害ボラサポ・台風19号(令和元年台風19号に伴う 災害ボランティア・NPO活動サポート募金)」を実施し、緊急救援活動を対象とした第1回短期活動助成98件、3,537万円、復旧・復興活動を対象とした第2回中長期活動助成87件、2億47万円

台風19号災害では、東日本の広範な地域で多くの被害をもたらされたことにより、災害ボラサポ・台風19号の助成審査にあたっては、特に被害の大きかった地域の支援関係者を運営・審査委員会臨時委員として参画いただきました。

の助成を実施いたしました。

この災害では、被害が広範囲に及んだこともあり、1つの団体が複数の地域に分かれて活動を行う団体や被災地の住民が団体を設立して支援が行われました。今なお、被害の大きかった長野県、福島県、宮城県では応急仮設住宅等が設置され、コミュニティづくりなどが必要とされており、ボランティアによる支援活動が続けられています。

災害名	令和元年台風19号
助成事業名	災害ボラサポ・台風19号
寄付額	256,611,336円
助成件数	185件
助成決定額	235,840,000円

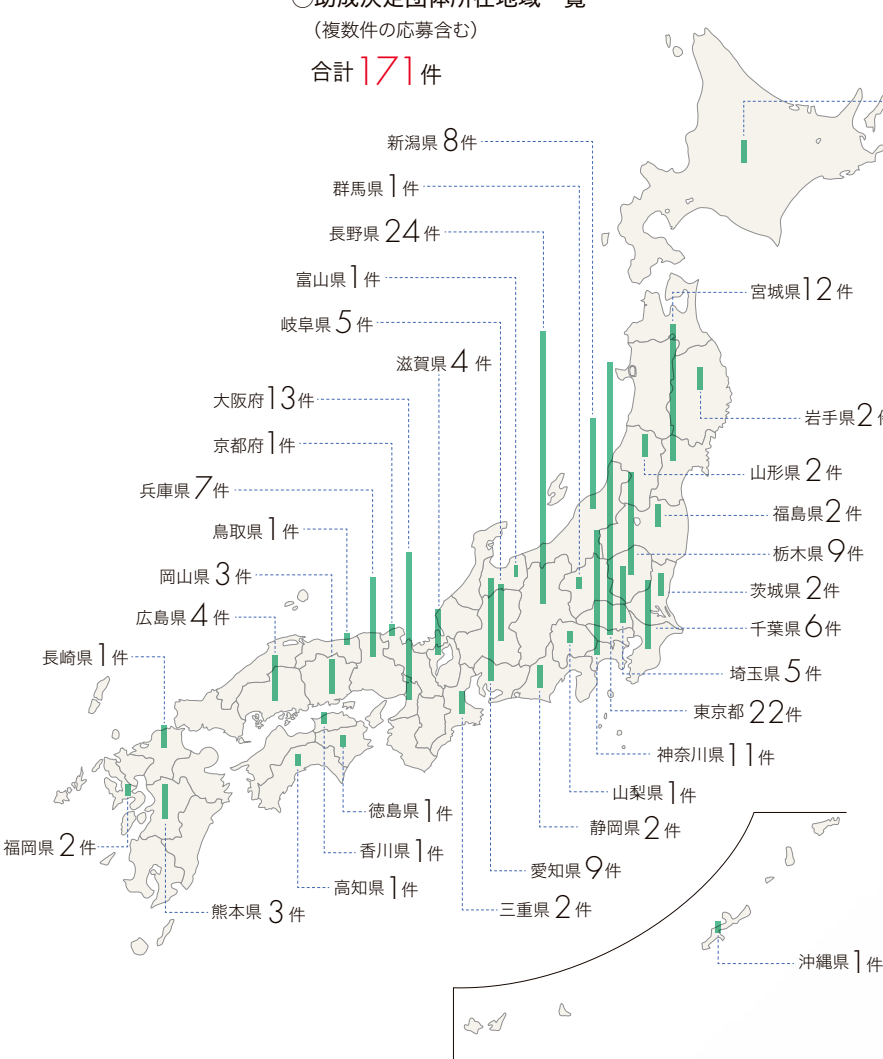
※助成件数、助成決定額は、第1回短期助成および第2回中長期助成の合計
※残金は災害ボラサポ全般へ繰入し今後の災害に活用

○災害ボラサポ・台風19号運営・審査委員会 臨時委員 (敬称略)

氏名	所属・肩書き
佐藤 光敏	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 事務局長
塩澤 宏之	社会福祉法人長野県共同募金会 次長
李 仁 鉄	特定非営利活動法人 にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長

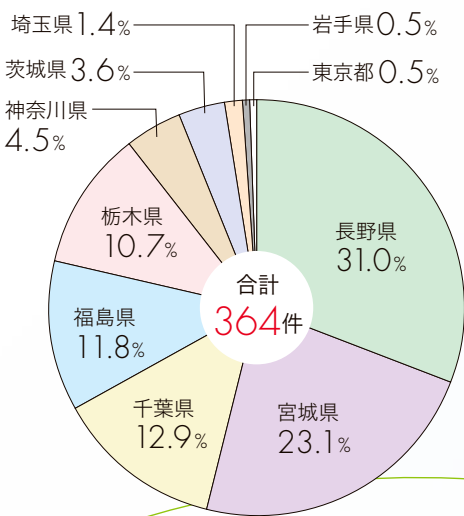
○助成決定団体所在地域一覧
(複数件の応募含む)

合計 171 件



台風19号災害では全国から支援団体が被災地に駆けつけており、それらの団体が支援活動を行う一方で、被災地でも住民が立ち上がり、団体を設立し、支援が展開されました。

○助成活動先地域
(複数件応募含む)



活動事例

- 団体名 学校法人立命館 災害復興支援室
- 活動名 福島県川俣町における立命館大学 災害復興支援室による災害ボランティア活動

- 助成決定額 500,000円
- 活動場所・拠点 福島県川俣町
- 活動期間 2019年11月1日～2019年11月30日
- URL/SNS <http://www.ritsume.ac.jp/fukkor/>

●活動内容

台風19号災害により被災した福島県川俣町において、東日本大震災以降に継続的に活動してきた経験を活かし、本学学生と教員による河川や沢の決壊によって家屋と敷地内に土砂流入の被害を受けた家屋の家財道

具の運び出しや土砂撤去の活動を行いました。地元の社会福祉協議会や行政と活動を通じた情報共有を図り、ボランティア活動者が少ない状況をうけ、継続的に学生と教員が現地に赴き、現地災害ボランティアセンターが閉所するまで、被災された世帯からのニーズに対応する活動を行うことができました。

●活動の成果

本学学生による活動を通じて、被災した家屋の片付けや泥出しなどのニーズ終了に貢献することができた。特に、大学の授業期間中であることから、平日の活動には制約が伴ったが、現地災害ボランティアセンターとの調整をはかり、き

め細かく対応できる地域にて継続的に活動することができました。

●寄付者へのメッセージ

今回活動を行なった川俣町小島地区は町内でも被害が比較的大きな地域でした。助成をうけて、緊急対応に特化し、担い手が不足しがちな地域に集中して活動できるよう現地との調整を図りながら実施しました。特にニーズが高かった片付けや泥かき等に対応した活動を展開できましたが、今後は被災者の生活再建を見据えたコミュニティ支援も展開していく予定です。活動に際して即応したご寄付によるご支援に感謝いたします。

- 団体名 大阪ボランティア協会
- 活動名 令和元年台風19号災害<いわき>へのボランティアツアー事業11月

- 助成決定額 500,000円
- 活動場所・拠点 福島県いわき市
- 活動期間 2019年11月1日～2019年11月31日
- URL/SNS <http://www.osakavol.org/>

●活動内容

広域災害であったこともあり、住家への被害が一番多かった福島県は、ボランティア活動者が少ないという状況でした。そうし

た状況のもと、現地災害ボランティアセンターにニーズを聞き取り、遠方であっても支援の手が足りていない被災地での活動を選択し、当協会会員企業CSR担当者やパートナー登録団体などに参加を呼びかけ、いわき市において、工務店の順番待ちのなかで、カビに侵されて朽ちていく浸水した家屋の床板や壁板を剥がす活動を行いました。

●活動の成果

刻々と変化する状況のなかで、支援の手が足りていない地域に、在阪企業人のボランティア参加を得て、被災者支援活

動を行ったことにより、継続したかわりや支援プログラム化など現地への支援活動につなげることができました。

●寄付者へのメッセージ

メディア等の影響もあって、各県ごとの被害状況には違いによって支援状況にも大きな違いが出ました。今回、わずかでもこうした人々のお役に立つことができたのは、広域な災害に目を向けていただき、ご寄付によるご支援をいただいた皆様のおかげです。心よりお礼申し上げます。

台風19号災害

活動事例

●団体名 吹田市社会福祉協議会施設連絡会

●活動名 宮城県丸森町への災害支援ボランティアバス運行

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	宮城県丸森町
●活動期間	2019年11月24日～2019年11月26日
●URL/SNS	http://www.suisyakyo.or.jp/

●活動内容

これまでも被災地へ災害支援ボランティアバスを運行しており、今回も当連絡会活動の一環として、多くのボランティアを必要とされている現地のニーズを受け、宮城県丸森町へボランティアバスを運行しました。現地では、人手を要し、体力も必要とする活動のため、経験豊富な連絡会メンバーによって限られた時間で、家屋の浸水した量や大型の家電製品など被災された家族だけでは搬出が難しいものの搬出や、土砂で埋まった状態の側溝の清掃を行い、水が流れる状態に修復することができました。

●活動の成果

被災地でのボランティア活動経験が豊富な参加者が中心となり、チームワークの良さを発揮し、支援活動を行うことができました。被災宅の方からは家族だけではどうしようもなかった中で、復旧活動を手伝うことにより生活再建に向けた支援に役に立つことができました。

●寄付者へのメッセージ

今回の災害においても、「被災された方の生活再建をすすめたい」「地域貢献したい」という当連絡会会員施設の思いから、ボランティアバス運行を行うこととなり、丸森町は遠方ですが、ボランティアの支援を必要と

されていたため、ご寄付いただいた助成金を活用させていただいたことで、遠方にもボランティア活動に赴くことができました。



●団体名 日本ファシリテーション協会

●活動名 台風19号に関わる支援団体と被災地域の連携及び問題解決のための支援活動

●助成決定額	1,830,000円
●活動場所・拠点	長野県長野市、宮城県丸森町、東京都
●活動期間	2019年10月20日～2020年3月31日
●URL/SNS	https://www.faj.or.jp/activity/reconstruction/

●活動内容

これまでの被災地における情報共有会議の経験を生かし、現地団体主催の会議において進行を務め、テーマ別に出てきた課題を解決するために、参加者同士をつなぐこと



や、支援団体の経験を引き出すことなどを意識し、支援団体の活動課題を見える化することにより、アイデアや意見を共有してリアルタイムで視覚的に情報の共有を図ったことで、支援の活性化や団体間連携につなげるファシリテーションを行いました。また、地元で会議のファシリテーションできる人材を育成に取り組み、会議を進め方や情報整理の方法、伝え方に関する研修も行いました。

●活動の成果

会議の目的や進め方・内容を参加者に理解してもらうこ

とにつながり、各フェーズの変化に応じて、課題をわかりやすくまとめ、情報共有会議で扱う課題を多角的な視点で明確に伝え、整理することによって効果的な支援活動につなげることができました。

●寄付者へのメッセージ

この度は貴重なご寄付をありがとうございました。災害時はほとんどの人がはじめての経験で混乱が続きます。だからこそ、支援機関同士のネットワーク強化を促進するための会議を有意義に運営していくために、ファシリテーションのスキルとマインドは不可欠です。ご寄付のおかげで支援活動を続けることができました。ありがとうございました。

活動事例

●団体名 災害応援にゃんこ隊

●活動名 災害から半年の心のケア活動、乳幼児・小中学生支援サービス活動

●助成決定額	500,000円
●活動場所・拠点	長野県長野市
●活動期間	2019年11月1日～2020年3月26日
●URL/SNS	http://gamadazekumamoto.jimdofree.com/

●活動内容

これまでの被災地子ども支援の経験を活かし、千曲川の堤防決壊により避難されている方が多い長野市豊野西小学校と北



部スポーツ・レクリエーションパークの避難所で、子どもたちへの文具やぬいぐるみ等の物資配布を行いました。また、応急仮設住宅が市内各所に設置されたこと

もあり、被災したことによって子どもたちの環境変化によるケアが必要であることから、遊びの提供やポップコーンと綿菓子等の炊出しの活動を行い、子どもの笑顔を引き出すことができ、被災したことにより不安を抱えていた周りの大人も元気になることができました。

●活動の成果

それぞれの避難所や仮設住宅等を訪問し、遊びを提供することによって、子どもたちの声に耳を傾けることができました。当初予定していた活動を超えた対応ができたことで、子どもだけでなく避難生活に不安を抱える大人に対してもリフレッシュしていただくことができました。

●寄付者へのメッセージ

全国各地で災害が発生したことによって、多くの避難生活をせざるを得ない子どもたちの不安に向き合い、支援させていただいたことに感謝しております。

●団体名 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do

●活動名 丸森町災害ボランティアセンターの運営支援活動

●助成決定額	2,470,000円
●活動場所・拠点	宮城県丸森町
●活動期間	2020年1月7日～2020年3月27日
●URL/SNS	https://www.facebook.com/feeldohome/

●活動内容

2019年10月から12月の災害VC中心の被災者・地支援から、仮設住宅が設置され、被災者見守り相談支援事業「地域支え合いセンター」の生活支援相談員による支援活動が始まる中、災害VCと地域支え合いセ



ンターの2つの活動を担う丸森町社会福祉協議会を支えることを軸とした運営支援活動を行いました。地域支え合いセンターにおける生活支援相談員が地域を訪問するための訪問ツール（支援物資をパック化）を活用するために、行政との調整や災害ボランティア活動も並行して行われているため、運営面に関する相談対応や支援活動におけるサポートを行いました。

●活動の成果

地域支え合いセンター開設に向けて、これまでのノウハウを提供し、丸森町社会福祉協議会関係者の不安の解消や具体的な活動イメージを持ってもらうことができました。長期化する支援活動を継続する丸森町で、

行政、社協、NPOなどの支援者と共に、被災者・地の困りごとの解決に向けた取り組みを行うことができました。

●寄付者へのメッセージ

在宅被災者は少しでも改善された環境で自宅での生活を、建設型仮設住宅入居者には早く生活に慣れていただくこと、また地域コミュニティづくりのサポートを関係者と力を合わせて活動してきました。助成いただいたことで微力ではありますが被災者・地の支援に貢献することが出来たことを感謝いたします。

2019年度災害ボラサポ収支のご報告

収入額	823,320,182円
(内訳)	・ 寄付金 391,386,420円
	・ その他 996,401円
	・ 前年度からの繰越金 430,937,361円
支出額	357,001,873円
(内訳)	・ 助成金 310,436,412円※
	・ 事業費 46,565,461円
繰越額	466,318,309円

※2020年3月31日現在の精算完了額

2019年度にご支援ご協力をいただいた主な企業の皆さま

(五十音順・敬称略)

「災害ボラサポ・令和元年8月九州豪雨、台風15号、台風19号」へのご支援

アイシングループ	ドイツ銀行グループ
愛知製鋼株式会社／愛知製鋼ボランティア基金	東京海上ホールディングス株式会社
旭タンカー株式会社	東芝グループ労働組合連合会 ※ボラサポ・台風21号
アズビル株式会社／azbilみつばち倶楽部	トヨタ自動車九州株式会社
一般財団法人H ₂ Oサンタ	株式会社豊田自動織機
エフコープ生活協同組合	株式会社ニコン
岡部株式会社	日本イーライリリー株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社	日本生活協同組合連合会
ギリアド・サイエンシズ株式会社	日本たばこ産業株式会社／JTグループ従業員有志
麒麟ビール株式会社	野村グループ
KPMGジャパン	株式会社野村総合研究所
株式会社光和	株式会社Fast Fitness Japan
コスモエネルギーホールディングス株式会社	ブックオフコーポレーション株式会社
コニカミノルタ株式会社	芙蓉総合リース株式会社
一般財団法人篠原欣子記念財団	プライムアースEVエナジー株式会社
商船三井グループ	古河電工グループ
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ	プロテック株式会社
株式会社SUBARU	マツダ株式会社
生活協同組合コープしが	三井住友信託銀行株式会社
株式会社成城石井	株式会社三井住友フィナンシャルグループ
ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社	森乳スマイル倶楽部／森永乳業株式会社
損害保険ジャパン株式会社	株式会社安川電機／YASKAWA未来クラブ
SOMPOひまわり生命保険株式会社	Yahoo!基金
Daigasグループ “小さな灯” 運動 (大阪ガス株式会社)	Yahoo!ネット募金、ヤフオク! (ヤフー株式会社)
株式会社大和証券グループ本社	株式会社淀川製鋼所
武山工業株式会社	株式会社読売巨人軍
株式会社ティーガイア	株式会社ローソン
電通グループ	

「災害ボラサポ」全般へのご支援

花王株式会社	株式会社日テレ アックスオン
霞が関コモンゲート管理組合 (日鉄興和不動産株式会社)	日本たばこ産業株式会社
ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社	株式会社八木熊
大阪ガス株式会社	株式会社ユナイテッドアローズ
WWE Japan合同会社	

このほか多くの企業・団体の皆さまにご支援・ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

企業や団体による寄付のかたち

企業・団体の皆さまからご寄付や製品の提供、社員の皆さんによるボランティア活動等さまざまなかたちで災害ボラサポへのご支援ご協力をいただいています。2019年度のご協力の中から紹介します。

関東・甲信越で店頭募金を実施し、「台風15号」の被災地を支援 株式会社ローソン

株式会社ローソンでは、令和元年台風15号災害への支援金として、関東・甲信越エリアのコンビニエンスストア5,419店舗 (2019年8月末時点店舗数) で店頭募金を実施しました。9月17日～30日の期間に、1都9県のローソンおよびナチュラルローソン店舗、および1都4県のローソンスストア100店舗のレジカウンターに募金箱を設置し、多くのお客様にご協力いただきました。ご寄付は、「災害ボラサポ・台風15号」の助成金として、被災地での支援活動に役立てられました。



社会貢献できる寄付アプリを展開 ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ

消費者向け製品をはじめ、医療機器、医薬品などを提供するジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループでは、気軽に社会貢献が出来る無料アプリ「Donate a Photo」を展開しています。このアプリから1日1枚写真を投稿すると、写真1枚につき1ドルを、ジョンソン・エンド・ジョンソンが投稿者のかわりに非営利団体へ寄付をするというしくみ。「災害ボラサポ・台風19号」への支援として多くの方々より合計14,307枚の写真を投稿いただき、同グループからご寄付をいただきました。



「社員WEB募金箱」+マッチング寄付で災害支援 野村グループ

グローバル金融サービスを展開する野村グループでは、中央共同募金会が開設する企業別オンライン募金サイト「社員WEB募金箱」を活用して、同グループの役職員に「災害ボラサポ・台風19号」への募金を呼びかけました。約1カ月にわたる開設期間中、多くの方々のご賛同くださり、法人としても同額のマッチング寄付を実施いただきました。あわせて災害義援金へもご寄付いただきました。



東日本大震災(ボラサポ2)、平成28年熊本地震(ボラサポ・九州)についても、各県共同募金会を通じて被災地支援を継続しています。皆さまのご支援に心より感謝申し上げます。

ボラサポ2、ボラサポ・九州へご支援いただいた主な企業の皆さま (2019年度) (五十音順・敬称略)

大阪ガス株式会社	三菱ケミカル・クリンスイ株式会社
ソフトバンク株式会社／ソフトバンクグループ株式会社	三菱電機株式会社 静岡製作所
日本イーライリリー株式会社	三菱電機ライフサービス株式会社
日本たばこ産業株式会社	株式会社ユナイテッドアローズ
株式会社野村総合研究所	

皆さま一人ひとりの支援が、
被災地の一人ひとりを支えます。
災害時には小さな支援から大きな支援まで
役に立てることができます。

発災直後の家屋等の片付けや炊出し、物資提供、
避難所などでの生活支援からコミュニティの再生に向けた支援まで、
被災地では様々なボランティアグループや
NPOによる支援が必要とされています。
そうした被災者を支えるボランティアグループや
NPO活動を費用面から支援するために、
「支える人を支える」活動支援金として災害ボラサポへの
ご寄付にご協力をお願い申し上げます。

〈災害ボラサポへのご寄付〉

ご寄付受入れ口座

送金先金融機関：三井住友銀行 東京公務部

□ 座 番 号：普通預金 0162585

□ 座 名 義：社会福祉法人 中央共同募金会



お問合せ先 **社会福祉法人中央共同募金会 基金事業部**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

TEL. 03-3581-3846 FAX. 03-3581-5755

メール kikin@c.akaihane.or.jp

ホームページ <https://www.akaihane.or.jp/saigai/>

Facebook <https://www.facebook.com/akaihane>

赤い羽根の
災害時支援HP



赤い羽根
Facebookページ

